

平成28年度 第2回座間市総合戦略推進懇話会 会議録

日 時 平成29年2月16日（木）10時～11時30分

場 所 座間市役所5階 5-2会議室

出席者 鍛冶委員、金井委員、黒部委員、武井委員、長本委員長、村山副委員長

事務局 三浦企画財政部長、山中企画財政部参事兼企画政策課長、安藤企画政策係長、
山本主事、小西主事、小澤主事

傍聴者 有り（1名）

公開可否 公開 一部公開 非公開

議 題 ・「座間市総合戦略」の点検・評価結果について
・座間市の産業・商業分析結果について
・その他

資 料 ・資料 「座間市まち・ひと・しごと創生総合戦略」平成28年度点検・評価報告書
・参考資料 座間市の産業・商業分析

《開 会》

- 開会
- 事務局から委員交代の報告
- 事務局から傍聴についての説明
- 委員長から傍聴の許可
- 事務局から資料の確認

《議題》

- 委員長から各委員に「議題3 その他」として案件があるかの確認（案件なし）

議題1 「座間市総合戦略」の点検・評価結果について

- 事務局から説明

（委員長）

それでは、ただ今の事務局からの説明について、御意見、御質問がございましたら、よろしくお願いたします。

（委員）

50ページのKPIの4-①「医療サービスを必要な時に受けられるようになってきていると思う市民の割合」ですが、平成28年の現状値が急激に伸び、平成31年の目標値を既に上回っています。これは座間総合病院の開院が最大の要因であり、市民にとって大きなインパクトがある話だという気がしています。それと同時に、KPIの3-②「子育てしやすいまちになっていると思う市民の割合」につきましても、基準数値が22.0であるのに対して平成28年度の現状値が伸びていますが、総合病院の開院はこちらの数値にも作用しているのかなと思います。

もう一点、52ページの4-②「安全、快適な道路になってきていると思う市民の割合」については「遅れている」という評価になっています。平成26年の基準数値を下回っていますが、これは恐らく、市民の皆様が道路というインフラを評価する際に、基礎自治体に対応する部分と私共のような広域自治体である県に対応する部分、あるいは国に対応する部分を区分せず全体として評価している結果ではないかと思われます。そういう意味では私共の努力不足も指摘されているのかなと思います。

市町村からは道路のインフラ整備について年度ごとに御要望をいただいておりますので、連携してやっていきたいと思っております。

(事務局)

「医療サービスを必要な時に受けられるようになってきていると思う市民の割合」については、「座間総合病院」の開院によるところが大きいものと考えています。また、道路の関係につきまして、特に「相模原二ツ塚線」の件では県に大変お世話になっています。道路で言えば、相模が丘の方では道路に対する満足度は高くなっています。市全体ではこのような結果になっていますが、今後とも県と連携して整備していきたいと思います。

(委員)

15ページのKPIの1-④「ボランティア活動などを通じた青少年の社会参加が増えてきていると思う市民の割合」について、増えているかどうかというのは恐らく市民の方の印象ですよ。ボランティア活動などを行っている子ども達はたくさんいるけれども、市民の目に見えていないということなのか、それとも本当に子ども達自身があまり参加していないということなのか、枠組みだけでは見えてきません。もし本当にやっているのに見えていないのだったらかわいそうだと思いますし、違うのであれば評価する手立てが必要だと思いますので、その部分の考え方を聞きできればと思います。

また、53ページのKPIの4-③「介護を必要としない高齢者の割合」の評価が「概ね順調です」なのに対して57ページのKPIの4-④「65歳健康寿命の延伸」の評価が「遅れています」となっています。ジャンルが違うからだとは思いますが、関係する2つの指標で評価が違うことに違和感がありますので御説明いただければと思います。

(事務局)

ボランティア活動などを通じた青少年の社会参加の関係ですが、この指標につきましては第四次座間市総合計画の中で定めた指標です。市民意識として、関心が薄い問題であると受け止めていますので、市として関心を高める施策を展開していきたいと考えています。

「介護を必要としない高齢者の割合」と「65歳健康寿命の延伸」の評価につきまして、「介護を必要としない高齢者の割合」は介護認定を受けていない市民の割合で、第1号被保険者数の伸びに対して認定者割合が低かったことから「概ね順調」と評価しました。健康寿命につきましては、介護認定者数と死亡数により神奈川県が算出している数値であり、原因は明確ではありませんが、本市では介護認定者割合が高く死亡数も多いことから、年々健康寿命が短くなっていることにより「遅れています」と評価しました。

(副委員長)

KPIの「～と思う市民の割合」というのは市民アンケートによるものであると事務局から説明がありましたが、その市民アンケートはどのような形で実施しているのでしょうか。また評価のうち「遅れている」ものの理由は把握しているのか、またその割合を上げるためにどのような努力をしているのでしょうか。

(事務局)

市民アンケートは2年に1回、4000人に郵送回答という形で実施しています。

なお、「～と思う市民の割合」は行政評価にも繋がっておりまして、施策によって市の果たすべき役割が大きいもの、県の果たすべき役割が大きいもの、国の果たすべき役割が大きいものがあります。市の努力を評価してもらうためにはそのプロセスを評価してもらう必要があるため、そのような表現とした経緯があります。

「遅れている」と評価したものについては様々な要素がありますが、例えば都市計画道路など、整備に長期間を要するものなど、長年に亘り課題となっている施策について遅れが生じているものと把握しています。

(委員長)

4000人のアンケートの対象はどのように抽出しているのですか。年齢層によってアンケートの内容は異なるのですか。

(事務局)

15歳以上を無作為抽出しています。

本市では第四次座間市総合計画に52施策掲げていますので、アンケートの内容を分けて送付しています。4000人にすべて同じ内容のアンケートを送付しているわけではありません。

(委員)

KPIの3-②「子育てしやすいまちになっていると思う市民の割合」がありますが、子育てに従事している、当事者の意見がその割合に反映されているのでしょうか。

(事務局)

そういった特定の市民を対象とする手法ではありません。

(委員)

21 ページに製造品出荷額の推移が、23 ページに年間商品販売額の推移が掲載されています。

21 ページで、企業投資促進条例の延長に触れており、これが製造品出荷額に関する評価が「概ね順調」であることの理由の1つだと思いますが、この条例では例えばロボット産業等、産業分類でターゲットを絞っているのでしょうか。

(事務局)

投資条例の対象は、工業系です。場所につきましても工業地域に限定しています。投資条例なので企業誘致だけではなく、既存の事業所においても新たな設備投資をした場合は不均一課税や、奨励金の交付といった形で実施しています。

(委員長)

ありがとうございました。ただ今、皆様からいただいた貴重な御意見を基に事務局で再度点検・評価報告書の内容を検討していただきたいと思います。

また、本日この場で言い足りなかったこと、また本懇話会後に思いついたこと等については、任意様式にて1週間後の2月23日(木)までに事務局に御提出いただければと思います。

議題2 座間市の産業・商業分析結果について

○事務局から説明

○質疑応答

(委員長)

それでは、ただ今の事務局からの説明について、御意見、御質問がございましたら、よろしくお願いたします。

特になし

(委員長)

皆様よろしいでしょうか。

それでは本日の協議はこれで終了とさせていただきます。

議題3 その他

○案件なし

《閉 会》

○事務局から事務連絡

- ・座間市総合戦略の中間見直しについて
- ・次年度の座間市総合戦略推進懇話会について

○企画財政部長挨拶

○閉会

以上